
・心豊かな人を育て、
地域文化を大切に作る鏡石をつくります！
～教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野～

-1-(1) 小中学校における教育の充実

現状と課題

- ・本町には、義務教育施設として、小学校が2校（第一小学校と第二小学校）、中学校が1校（鏡石中学校）ありますが、児童生徒数はほぼ横ばいの状況にあります。
- ・国において教育改革が行われ、2011年度（平成23年度）から、新学習指導要領に基づいた指導が開始されています。（中学校は平成24年度から）
- ・本町においても、こうした動きを踏まえつつ、質の高い公教育の実現を図る観点から、2011年（平成23年）3月に、「鏡石町教育振興基本計画」を策定し、各種の取組みを進めています。
- ・義務教育については、「確かな学力」を育むための指導の充実、「豊かな心」と「健やかな体」の育成、教員の資質向上と学校支援の充実、個に応じたきめ細かな指導ができる体制づくり、情報化・国際化に対応できる人材の育成、安心・安全な教育環境づくりといった施策を掲げて実践を図っており、これらの推進が課題となります。
- ・学校での教育にとどまらず、家庭教育や、地域ぐるみの教育環境の充実も課題となります。

震災が及ぼした影響

- ・強い揺れにより、第一小学校の校舎や体育館などが大きな被害を受け、児童たちは、一時期、第二小学校や町構造改善センターで授業を受けることを余儀なくされました。
- ・現在はプレハブ校舎での授業を再開していますが、早期の施設復旧とともに、子どもたちの心のケアを含めた総合的な対応が必要とされています。
- ・その他の小中学校についても、施設の損壊などの被害を受けています。
- ・放射能汚染の影響により、屋外活動を制限する必要が生じたことから、エアコンまたは扇風機の設置や校庭の表土の除去などを行いました。
- ・今後は、放射線量の測定などの取組みを継続していくことが重要な課題となっています。

小中学校の概況 *2011年（平成23年）5月1日現在

学校名	学級数	児童生徒数			教職員数			1学級当たり児童生徒数	特殊学級（再掲）	教員1人当たり児童生徒数
		計	男	女	計	男	女			
第一小学校	25	664	335	329	36	10	26	26.6	2	18.4
第二小学校	7	175	88	87	13	4	9	25.0	1	13.5
計	32	839	423	416	49	14	35	26.2	3	17.1
鏡石中学校	17	406	205	201	29	17	12	23.9	2	14.0

小中学校の学級数・児童生徒数等の推移 *各年度5月1日現在

	2007（平成19）年度			2008（平成20）年度			2009（平成21）年度			2010（平成22）年度			2011（平成23）年度		
	学級数	児童数	教職員数												
第一小学校	24	683	37	26	695	35	26	668	36	26	660	33	25	664	36
第二小学校	9	183	15	7	175	13	8	179	14	8	176	12	7	175	13
計	33	866	52	33	870	48	34	847	50	34	836	45	32	839	49
鏡石中学校	17	415	29	17	407	30	16	414	29	16	414	29	17	406	29

施策の基本方針

「確かな学力」を育むための指導の充実

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、「生きる力」の育成を重視した指導・研究を行います。
- ・学習意欲の向上と日頃からの学習習慣の確立を図ります。
- ・新しい学習指導要領に基づいた指導を的確に実施します。理数教育にも力を入れます。
- ・全国学力・学習調査の結果の分析と活用、学校評議員制度、学校評価、教職員評価など、各種の評価活動の充実を図ります。

「豊かな心」と「健やかな体」の育成

- ・登下校指導、町の行事への参加など、地域の協力も得ながら、社会性や道徳性を高める指導を行います。
- ・発達段階に合わせた豊かな体験活動を実施します。
- ・郷土の自然や身近な環境問題に関する学習など、各種の環境教育を行います。
- ・学校間の連携、相談体制の整備などにより、いじめや不登校対策を実施します。
- ・町図書館及び学校図書館の蔵書の充実と利用促進により、読書活動の充実を図ります。
- ・一人一人の心に寄り添ったきめ細かな生徒指導を推進します。
- ・児童・生徒の体力の向上と健康の増進のため、体育科や保健体育科の授業のほか、栄養教育、体育行事への参加推進などを行います。
- ・中学校における職場体験活動など、キャリア教育（職業や進路に関わる教育）の充実を図ります。



教員の資質向上と学校支援の充実

- ・教員が最新の情報や教育技術に触れる機会を増やすなど、教員研修の充実を図ります。
- ・町教育委員会へ指導主事を配置し、小・中学校を訪問指導するなど、教員の指導体制の充実を図ります。
- ・教職員の服務倫理の徹底に努めます。

個に応じたきめ細かな指導ができる体制づくり

- ・特別な支援を必要とする子どもたちのための特別支援教育の充実を図ります。
- ・個別相談の計画的な実施、中学校へのスクールカウンセラーの配置などにより、教育相談体制の充実を図ります。
- ・適応指導教室やカウンセリングなどにより、不登校の子どもなどへの教育機会の提供に努めます。
- ・就学困難な児童・生徒とその家庭に対して、関係機関との連携により支援を行います。

（次ページに続く）

情報化・国際化に対応できる人材の育成

- ・学校における ICT（情報通信技術。一般的にはITと呼ばれる。）環境の整備と教職員の研修機会の提供を図ります。
- ・社会や経済の グローバル化への対応やコミュニケーション能力の向上などの観点から、外国語活動と外国語授業の充実を図ります。

安全・安心な教育環境づくり

- ・第一小学校をはじめ、震災で被害を受けた小学校・中学校の校舎などの施設について、迅速な復旧工事を行います。
- ・そのうえで、さらなる耐震性能の向上に向けた改修、バリアフリー化、児童数・生徒数やカリキュラムに見合った充実など、必要な施設の改修を検討・実施していきます。
- ・放射能汚染対策として、校庭の表土の除去、エアコンまたは扇風機の設置などは完了しました。
- ・今後は、放射線量の測定や給食に用いられる食材の安全性の確認などを継続して実施していきます。
- ・防犯のための訓練や危機管理に対する意識の向上などに努めます。

家庭教育の支援

- ・児童・生徒の教育の起点は家庭にあると考えられることから、家庭教育の重要性の啓発や情報の提供などの支援を実施します。

地域ぐるみの教育環境の充実

- ・ボランティア団体、生涯学習文化協会、かがみいしスポーツクラブなどの団体と連携して、地域ぐるみの教育を進めます。
- ・放課後や休日の児童・生徒の居場所づくりとして、放課後子ども教室の充実などを図ります。



注) 印のある語句については、
巻末の「用語解説」を参照

主要な事業（ のついているものは震災復旧・復興関連事業）

事業名称	事業の概要
学校施設整備事業	・小中学校の維持・管理に関わる事業
学校校舎改築事業	・震災で被害を受けた校舎の復旧事業（第一小学校校舎の改築工事など）
放射線対策事業	・放射線量の測定と学校給食の安全管理 など
学校図書整備推進事業	・小中学校の図書館と図書の整備・充実
学力向上対策事業	・指導方法の検討、教材・備品の充実 など
学校教育支援事業	・外部講師による指導、地域ボランティアの活用など
情報化教育推進事業	・生徒と教職員の PC・インターネット・校内 LAN などの情報通信環境の整備
国際化推進事業	・小中学校における外国青年の招致 など
特別支援教育事業	・障がいのある幼児・児童・生徒を支援するための、小中学校への介助員及び特別支援教育支援員の配置
その他の義務教育関連事業	・教育指導主事の設置、適応指導事業（不登校対策）、小学校における理科振興授業、放課後子ども教室の充実 など

-1-(2) 幼児教育の充実

現状と課題

- ・本町には、町立鏡石幼稚園（町立成田幼稚園は2009年度から休園中）のほか、私立2園（岡ノ内幼稚園・鏡石栄光幼稚園。後者は、2008年に保育機能を兼ねた「認定こども園」に移行）があります。
- ・町立鏡石幼稚園では、「げんきつきタイム」を実施するなど、友達との関わりの楽しさを感じさせながら体力の向上を図ったり、栽培活動や伝統食作り体験などの食育を推進しています。
- ・また、預かり保育事業を行ったり、保育所との交流会を開催するなど、総合的な子育て支援の取組みも進めています。
- ・2011年（平成23年）3月策定の「鏡石町教育振興基本計画」では、幼児教育の充実に関して、幼稚園教育の充実、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携強化、預かり保育の充実、私立幼稚園の支援といった施策を掲げて実践を図っており、これらの推進が課題となります。
- ・幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる時期であることから、この時期に行われる教育は、子どもの心身の健やかな成長を促す上できわめて重要であり、充分留意して幼児教育の充実を図っていく必要があります。

震災が及ぼした影響

- ・鏡石幼稚園の園舎が被害を受けました。
- ・園庭の表土の除去などの対策は実施済みですが、若い園児たちの心に傷が残らないように、継続的できめ細かなケアが必要であると考えられます。

幼稚園の概況

* 2011年（平成23年）5月1日現在

学校名	学級数	園児数			教職員数			1学級当たり 児童生徒数	教員1人当たり 児童生徒数
		計	男	女	計	男	女		
鏡石幼稚園	4	60	40	20	7	0	7	15	8.6
成田幼稚園		休園							
岡ノ内幼稚園	9	170	89	81	14	0	14	18.9	12.1
鏡石栄光幼稚園	4	82	39	43	10	1	9	20.5	8.2

幼稚園の園児数等の推移

* 各年5月1日現在

	2007（平成19）年度			2008（平成20）年度			2009（平成21）年度			2010（平成22）年度		
	学級数	園児数	教職員数									
鏡石幼稚園	4	80	6	4	73	6	4	85	6	4	77	6
成田幼稚園	1	14	2	1	9	2	休園			休園		
岡ノ内幼稚園	6	156	13	7	148	12	7	153	13	8	163	13
鏡石栄光幼稚園	2	41	5	3	58	6	3	78	8	3	73	8

* 鏡石幼稚園・成田幼稚園は2年保育、岡ノ内幼稚園・鏡石栄光幼稚園は3年保育

注) 印のある語句については、
巻末の「用語解説」を参照

施策の基本方針

幼稚園における教育の充実

- ・「新幼稚園教育要領」の理念に基づき、幼児の発達や学びの連続性を踏まえ、幼児が健やかに成長できるような幼児教育を推進します。
- ・放射線対策として、園庭の表土除去及び扇風機の設置は完了したため、今後は、放射線量の測定などを継続し、安心安全な幼稚園づくりに努めます。
- ・その他、園舎の適切な維持・管理、図書の整備、国際感覚を養うためのカリキュラムの充実、特別支援教育など、多角的な取組みを進めます。

保育所や小中学校などと連携した取組み

- ・幼稚園と保育所・小学校・中学校との間の交流を促進し、連携した取組みを進めます。
- ・国において、「幼保一体化（幼稚園と保育園の各々の長所を活かして「認定子ども園」などの施設として統合すること）」に向けた検討が行われているため、その動向を注視しつつ、町として適切な対応を行います。（私立の栄光幼稚園は「認定こども園」となっています。）
- ・地域との交流、「地域の力による子育て」の取組みも進めます。

預かり保育の充実

- ・幼児の安心安全な場を提供し子育て支援を図るために、預かり保育を実施するとともに、その充実を図ります。



私立幼稚園の支援

- ・私立幼稚園に就園している保護者の負担軽減のため、保育料の一部を補助する事業を継続します。

主要な事業（ のついているものは震災復旧・復興関連事業）

事業名称	事業の概要
幼稚園整備事業	・幼稚園の園舎の維持・管理に関わる事業
放射線対策事業	・放射線量の測定 など
幼稚園図書整備推進事業	・幼稚園における図書の整備・充実
幼稚園教育支援事業	・外部講師による指導 など
国際化推進事業	・国際理解を養うためのカリキュラムの充実
特別支援教育事業	・障がいのある園児を支援するための特別支援教育支援員の配置
預かり保育事業	・町立幼稚園における預かり保育の実施
私立幼稚園就園支援事業	・私立幼稚園に就園している保護者への経済的支援

注) 印のある語句については、巻末の「用語解説」を参照

-1-(3) 生涯学習機会の拡大

現状と課題

- ・学習活動を、学校を卒業した時に終えるのではなく、仕事や家事をしながらも、一生涯にわたって続けて生きたいという人たちが増加しています。
- ・特に近年は、いわゆる「団塊の世代（終戦直後のベビーブームの時期に産まれた人たち）」の退職時期となっていることもあり、退職後に新しい分野の学習を開始したいという人たちが増えており、本町でも同様の動きがあると考えられます。
- ・こうした中、町公民館、町図書館といった生涯学習、社会教育の場の充実に努めており、各種の講座の開催や、生涯学習文化協会などと連携した共催事業などを実施しています。
- ・今後は、さらに高まりをみせる生涯学習の需要に、さらに強く幅広く応えていける施設づくり、態勢づくりなどを図ることで、本町が掲げる生涯学習の目標「生きがいにあふれ創造性豊かなたくましい町民の育成」を実現することが課題となります。

震災が及ぼした影響

- ・東日本大震災においては、町図書館、町公民館など、生涯学習の場となる社会教育施設も大きな被害を受けました。
- ・復旧が完了した後も、さらなる安全性の確保のための取組みを継続していくことが重要な課題であると考えられます。
- ・また、様々な事業・行事が震災の影響で中止を余儀なくされました。
- ・事業の復活・充実に向けた取組みが求められています。

生涯学習関連の主要事業一覧（2010年度（平成22年度）実施分）

事業名称	期日	参加者	内容
1.アドベンチャークラブ	6～2月	50名	自然観察会、国際交流など（全8回開催）
2.まちづくり講座（野菜人づくり講座）	8～11月	10名	野菜づくり講習
3.まちづくり講座（ガーデニング講座）	6～10月	10名	ガーデニング講習
4.成人式	1月9日	132名	該当者：172名
5.いきいき学級	5～12月	112名	クラフト教室、移動学習、健康教室など
6.ジョイフルライフ講座	5～12月	30名	陶芸、インディアカ、書道、フラワーアレンジメントなど
7.あやめまつり文化芸能祭	6月19～20日	216名	芸能発表、体験教室
8.初夏の文化祭	6月5～6日	388名	さつき山野草、絵画、生徒作品展など（総出点数578点）
9.秋の文化祭	10月30～31日	762名	園児・児童・生徒作品展・芸能発表会など（総出点数935点）
10.自主事業開催	6月3日	46名	盆栽剪定教室・美術展など
11.ウォークラリー	9月4日	166名	鳥見山公園周辺を会場にウォークラリーを実施
12.TPT活動支援	6～12月	26名	青少年の非行防止活動
13.少年の主張大会	8月19日	100名	小・中学生17名の発表
14.町内一斉定植	6月13日	-	各行政区の協力を得て定植作業を実施
15.ガーデニングコンクール	7月～	-	家庭からの花いっぱい運動の推進



町民からの提案（「鏡石町のまちづくりに向けた町民提言書（平成23年9月28日）」から）

- ・充実した公共施設を活かしたりイベントを利用したりすることで、盛んに行なわれている文化活動の発表の場を増やそう。その情報を町のみんなや町外に発信して多くの人に見てもらおう。

施策の基本方針

生涯学習の支援体制の充実

- ・震災で被害を受けた施設の復旧を完了した後は、安心して利用が可能なように適切な維持・管理を継続します。
- ・文化祭をはじめとする生涯学習文化協会と加盟団体の活動を支援し、生涯にわたって学び続けられる環境の整備を図ります。
- ・町民の学びの成果や技術・知識などを十分に発揮できるよう、学習発表する場や活動機会を提供する体制づくりに努めます。
- ・公民館が主催する各種講座や学級、文化講演会、花いっぱい運動、出前講座などのさらなる充実を図り、現代的課題や地域のニーズに即した学習機会の提供に努めます。
- ・公民館職員や社会教育主事などの関係職員の研修機会の拡充などにより、職員の資質の向上を図る一方で、民間の人材の活用も推進します。
- ・広報紙や町のホームページなどを活用して、社会教育に関わる情報の提供を行います。

図書館サービスの充実

- ・生涯学習の中心的な拠点となると考えられる町図書館において、蔵書の整備を進め、館内の閲覧環境の整備とともに、推薦書の周知など、家庭における読書活動を支援します。
- ・造形教室、読み聞かせ会、子ども映画会など、幼児から高齢者まで、幅広い世代を対象とした事業の継続・充実を図ります。
- ・図書館に関わる情報提供の充実、貸出事務の ICT（情報コミュニケーション技術。一般的にはITと呼ばれる。）化などを図ります。

主要な事業

事業名称	事業の概要
社会教育関連団体育成事業	・生涯学習文化協会と加盟団体の事業の支援など
公民館における社会教育推進事業	・公民館における町づくり講座の開催 など
図書館における社会教育推進事業	・造形教室・読み聞かせ会など、幅広い世代を対象にした自主事業の実施
社会教育施設の維持管理事業	・施設や備品の充実と適切な維持・管理
社会教育関連の情報提供事業	・広報紙・町ホームページなどにより関連情報の提供

注) 印のある語句については、巻末の「用語解説」を参照

-1-(4) 青少年の健全育成の支援

現状と課題

- ・少子化の進展や経済的な格差の拡大など、社会環境が大きく変化する中であって、社会モラルの低下など、青少年の健全育成にとってマイナスの動きが全国的にみられます。
- ・青少年期におけるいじめや不登校、ひきこもりなども社会問題となっています。
- ・こうした中、本町では、学校・家庭・地域の連携による「青少年育成町民会議」を組織し、少年の主張や標語コンクールなどの活動を通じて、心身ともに健全な青少年の育成に努めています。
- ・町の将来を担う若い世代を育てるという重要な政策課題として、こうした施策の継続・充実に取り組んでいくことが求められています。

震災が及ぼした影響

- ・被災した青少年も多く、青少年の「心のケア」に留意しつつ、健全育成を支援していく必要があります。



町民からの提案（「鏡石町のまちづくりに向けた町民提言書（平成23年9月28日）」から）

- ・子どもに役割を与え、その実現のために互いに協力できる場を地域でつくるなど、未来を担う子どもを地域のみinnで育てよう。

施策の基本方針

青少年の健全育成のための組織の充実

- ・青少年育成町民会議を中心に、青少年の育成に関わる問題の把握、情報の交換、施策の検討などを継続します。

青少年団体やグループの育成支援

- ・仲間との交流などを通じて青少年の自己実現を可能とするため、青少年の活動のための団体やグループに関する情報の提供、設立に関わる相談、育成支援などを行います。



青少年の健全育成のための環境づくりと活動の展開

- ・人にやさしい地域社会づくりや、様々な社会活動やレクリエーションの機会を通じて、青少年の健全育成につなげていく視点を大切にします。
- ・合わせて、ごみのない美しい町づくり、大人の模範的な行動の推進、有害図書などの情報の排除など、非行を防止し健全育成につながるような社会環境づくりに努めます。
- ・社会的マナーを身につけ、豊かな人間性と社会性をもつ青少年の育成を目指し、子ども会をはじめとする青少年活動の支援や関係機関と協力して、「あいさつ運動」「見守り運動」などを実施します。

主要な事業

事業名称	事業の概要
青少年の健全育成に関わる検討の場の設置と施策の検討関連事業	・ 青少年育成町民会議による継続的な検討
多彩な青少年育成活動の実施関連事業	・ 子ども会育成会連絡協議会事業、スポーツ少年団事業、TPT事業、アドベンチャークラブなどの多彩な青少年育成活動の実施

序
説

基本
構想

基本
計画

基本
計画

基本
計画

基本
計画

基本
計画

資
料
編

-2-(1) スポーツの振興

現状と課題

- ・スポーツは、町民の健康を維持・増進するほか、レクリエーションや交流促進など、様々な機能をもっており、その振興を支援することは、重要な行政課題です。
- ・本町でも、鳥見山公園内の体育館、テニスコート、野球場、陸上競技場などを拠点に、町民のスポーツ活動の支援や、各種のイベントを開催しており、スポーツ活動が盛んな町となっています。
- ・そして2009年(平成21年)2月、「総合型地域スポーツクラブ」としての「かがみいしスポーツクラブ」が設立され、町内の各体育施設において、活発なサークル活動・イベント・スクール活動が実施されています。
- ・2010年(平成20年)3月7日現在の登録者数は、621人(サークル会員164人、スクール会員457人)となっています。
- ・今後も、さらなるスポーツの振興に努めていくことが課題となります。

震災が及ぼした影響

- ・東日本大震災は、町内のスポーツや体育・運動施設にも深刻な被害を与えました。
- ・町民プールで天井が落下するなどしたほか、鳥見山陸上競技場、野球場やテニスコートといった施設でも一部の設備が損傷被害を受けました。
- ・また、震災直後は、多くのスポーツ関連行事が中止されました。
- ・施設の補修は概ね完了しましたが、町民の健康づくりやレクリエーションのために貴重なスポーツ施設の適切な維持・管理と安全性のさらなる向上、各種イベントの復活と充実などが課題となっています。
- ・復興のための力として、スポーツの振興を原動力としていくことも考えられます。

町立のスポーツ施設(社会体育施設)の利用人数の推移 (単位:人)

施設名称	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)
1.鳥見山体育館	32,155	32,471	32,118	35,050
2.鳥見山テニスコート	14,465	13,436	13,447	11,650
3.鳥見山野球場	7,402	9,303	9,026	7,655
4.鳥見山陸上競技場	16,705	16,495	19,429	20,274
5.鳥見山多目的広場	5,564	5,501	7,762	9,220
6.構造改善センター	15,712	16,120	16,828	14,347
7.町民プール	76,108	81,430	77,237	76,891
合計	168,111	174,756	175,847	175,087



町民からの提案(「鏡石町のまちづくりに向けた町民提言書(平成23年9月28日)」から)

- ・スポーツや健康づくりへの関心の高まりを背景に、充分活用されていない施設を活用して各種大会やスポーツクラブの充実を図ろう。また、きれいな水質を維持できるプールを活かして皆の健康のお手伝いをしよう。
- ・恵まれた施設を有効利用してスポーツ活動を通じて、健康・福祉のまちをつくろう。

施策の基本方針

スポーツ関連組織の活動支援

- ・総合型地域スポーツクラブである「かがみいしスポーツクラブ」の活動の充実を図ります。
- ・体育協会をはじめとする各種のスポーツ団体の活動の支援を行います。競技スポーツの選手育成にも力を入れます。
- ・スポーツ推進員による、各種のスポーツ団体やイベントの際の指導などの取組みに対して、支援を行います。

スポーツ関連イベントの実施と参加の促進

- ・鳥見山陸上競技場を拠点としたスポーツ教室など、各種のスポーツ関連事業を実施します。県主催の大会なども促進します。
- ・地域の人とのふれ合いや、様々な世代の人との交流を促進するため、「ニュースポーツ」関連のイベントの開催を検討します。
- ・子どもたちの体力を増進し、個に応じた指導体制の充実を図るため、体育の授業や各種大会の練習などに際し、スポーツクラブの指導者やトップアスリートを派遣します。

スポーツ関連施設の維持・管理と充実

- ・鳥見山体育館、陸上競技場、町民プールをはじめ、構造改善センター、公民館などの施設も含めて、スポーツ活動の場となる各種施設について、適切な維持・管理に努めるとともに、町民ニーズに応えられるよう施設の充実を図ります。
- ・スポーツ活動の幅を広げるため、学校体育施設の活用を推進します。
- ・民間のアイデアと活力で利便性とサービスの向上を図る目的から、町民プールで導入済みの指定管理者制度について、他の施設における導入の可能性・妥当性を検討していきます。
- ・必要に応じて、放射線量の測定などを実施し、安全の確認を行います。

主要な事業（* のついているものは震災復旧・復興関連事業）

事業名称	事業の概要
スポーツ関連組織の育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会の組織強化 ・「かがみいしスポーツクラブ」による生涯スポーツの振興 ・スポーツ指導員の取組みの支援
スポーツ関連イベント事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥見山陸上競技場におけるスポーツイベントの開催 など
スポーツ施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町営のスポーツ施設（社会体育施設）の維持・管理と指定管理者制度（町民プールで導入済み）の新規導入検討 など
スポーツ施設における放射線対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線量測定の実施 など

-2-(2) 町民保健と健康づくりの支援

現状と課題

- 健康の維持・増進と保健衛生の向上は、幸福で安定した生活の前提となります。
- また、疾病予防により、医療費や福祉関連の支出の肥大化を防ぐことで財政の健全さを維持し、様々な施策を実行する財源を確保していくうえからも、重要な政策課題です。
- こうした中、国は、2002年(平成14年)に健康増進法を定め、また、特定検診に関わる制度を改正するなどの対応を行っており、本町でも、これらの動きに沿った施策を実施しています。
- 保健と健康づくりは、町保健センター、町成田保健センター、勤労青少年ホームなどを活用し実施しています。
- 少子高齢化の進行や、生活様式の変化、運動不足やストレスなどによる疾病の増加が懸念されており、町民の保健と健康の維持・増進に対するニーズは、今後も高まりをみせることが考えられます。
- 母子保健や地域医療なども含めた総合的な観点から、各種の施策を推進していくことが課題となります。

震災が及ぼした影響

- 東日本大震災は、住宅や公共施設などの物的な被害をもたらしたにとどまらず、町民の心身にも深刻な影響を与えました。
- 生活環境の激変やストレスなどにより体調を崩す人がおり、いわゆる「災害うつ」などの増加傾向も報告されていることから、総合的・継続的に町民の心と体のケアに努めていくことが必要となっています。
- 放射能汚染による健康被害が生じないよう町民を守るとともに、「目に見えない災害」として不安を抑えるための取組みも求められています。

各種の検診の受診者数の推移

(単位：人)

検診名		2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)
特定健康診査	集団検診	890	844	795
	人間ドックほか	281	321	263
介護予防検診		170	165	
胃がん検診		855	764	614
子宮がん検診		422	449	510
乳がん検診		354	445	430
肺がん検診		1,409	1,280	1,255
大腸がん検診		548	445	485
骨粗しょう症検診		132	110	133
結核検診		751	688	686

施策の基本方針

健康増進の啓発と支援

- 各施設を利用して、町民の健康の維持・増進のための事業を行います。
- 生活習慣病をはじめとする疾病予防のための健康管理や健康増進、体力づくりなど、健康関連の情報を広く収集し、町民に提供するとともに、相談体制の充実を図ります。
- 自らの健康を守ることは、自身のみならず、町民全体の利益となることを知ってもらうように、医療機関などと連携して、啓発活動を推進します。
- 「健康増進法」の理念に基づいて、喫煙や過度な飲酒の抑制、メタボリックシンドローム(生活習慣病につながる肥満状態など)の防止などに向けた雰囲気づくりを図ります。
- 各種の健康診査の受診率の向上のため、情報の早期提供や受診の勧奨などを行います。
- 地域での健康増進に関わる活動の支援、学校における食育の実施、スポーツや体育関連事業の実施、近年全国的に増加傾向にある自殺の防止などに総合的に取組みます。

感染症対策の推進

- ・各種の予防接種について、国の判断基準を踏まえて、集団接種・個別接種を適切に判断して実施します。
- ・新型インフルエンザなどの感染症に関する情報の収集と広報を行うとともに、万一の際には迅速・適切な対応を行います。

母子保健の充実

- ・大切な生命の誕生と成育を守り、母子ともに健康を維持・増進するため、健康診査、訪問指導、相談事業などを実施します。

地域医療体制の充実

- ・医療全般に関わる重要な情報や、町内のクリニックや歯科医院など、医療機関に関する情報の収集と提供を図ります。
- ・近隣市町村の医療協議会の取組みなどを注視し、その動きを踏まえて適切な対応を講じます。

被災者の健康ケアの実施

- ・被災者の心身のケアのため、訪問による健康相談事業などを実施します。
- ・ニーズに応じた室内放射線量の測定、高濃度の施設の除染などを行います。

主要な事業（* のついているものは震災復旧・復興関連事業）

事業名称	事業の概要
健康増進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健（検）診事業（総合健診・女性健診） ・健康セミナーなどの健康教育事業 ・健康相談と訪問指導 ・地区組織による健康増進活動への支援 ・学校での食育教室 ・スポーツや体育関連事業の実施 ・自殺対策事業（講演会・キャンペーン等） など
感染症対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の予防接種の実施（集団接種・個別接種） ・新型インフルエンザなどの感染症に関する情報収集と広報
母子保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦及び乳幼児健康診査事業 ・新生児等訪問指導・養育支援訪問事業 ・乳幼児・児童の健康相談 ・心理士の個別相談会 ・歯科保健教室 など
地域医療推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公立岩瀬病院に対する分賦金及び出資金の支出 ・須賀川地方保健環境組合における、休日夜間急病診療所の開設への分担金の支出 ・福島県総合医療システム運営費の支出 ・医療関連情報の提供 など
被災者の健康ケアに関わる事業	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問による健康相談の実施 など
放射線量の測定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・個人放射線量測定（妊婦、0～18歳を対象） ・サーベイメーターによる空間線量測定 ・食品中の放射線量測定（一般町民対象）
放射性物質除染事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高濃度の施設の除染

-3-(1) 地域の文化の保全・継承と新文化の創造

現状と課題

- ・本町には、国内で初めて西洋式牧場として開設され、唱歌「牧場の朝」の舞台ともなっている岩瀬牧場があり、町の重要な文化資源となっています。
- ・県指定の文化財として、「板絵 凌煙閣功臣画像八枚十二面」と呼ばれる美術工芸品があるほか、町指定の文化財として、史跡 4、天然記念物 4、有形民俗文化財 2、無形民俗文化財 2、工芸品 1、考古資料 10、歴史資料 1（オランダの鐘）が指定されています。
- ・法律で定められた文化財の保護に関しては、文化財保護審議会が設置され、文化財保護事業の審議のほか、文化財パトロールなどを実施しています。
- ・また、伝統的な行事として、「仁井田八幡神社祭礼花火」や「熊野神社太々神楽」などが行われています。
- ・さらに、いちご、りんご、岩瀬きゅうり、梨といった特産品と、それを生み出している里山風景なども、鏡石町の文化の一翼を形成していると考えられます。
- ・本町では、生涯学習文化協会による各種の事業の開催を支援するなどの取り組みを行っていますが、様々な町の文化的な資源を、大切に保全し後世に伝えていくこと、そしてそのための担い手や人材の確保と育成などが課題となります。
- ・一方で、従来の資源を保全するにとどまらず、「産業の6次化（1・2・3次産業の連携により、付加価値と利益を生み出すこと）」などの取り組みで、鏡石町ならではの新たな価値を創造していくことも求められます。

震災が及ぼした影響

- ・文化財では、笠地蔵と大日自然石板碑が被害を受けました。
- ・東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染が、福島県全体に対するイメージを損ない、地域文化の保全・育成を図るうえでも障害となっていることから、風評被害の撲滅が重要な課題です。

文化関連の主要事業（生涯学習文化協会主催）

事業名称	内容
1.いきいき学級	クラフト教室、移動学習、健康教室など
2.ジョイフルライフ講座	陶芸、インディアカ、書道、フラワーアレンジメントなど
3.初夏の文化祭	さつき山野草、絵画、生徒作品展など
4.秋の文化祭	園児・児童・生徒作品展・芸能発表会など
5.自主事業開催	盆栽剪定教室・美術展など



町民からの提案（「鏡石町のまちづくりに向けた町民提言書（平成23年9月28日）」から）

- ・恵まれた郷土の歴史や文化資源を掘り起こし、現代に蘇らすことで多くの人を呼び、まちの活力を高めよう。そのためのノウハウを蓄積しよう。
- ・優れた町の文化にさらに磨きをかけ、日常における地域住民の交流機会を増やすことにより、文化と交流のまちづくりを進めよう。

施策の基本方針

文化財と文化資源の保護とPR

- ・指定文化財について、関連する資料や記録などとともに適切に保護し、後世に伝えます。
- ・文化審議会の継続的な活動を図ります。
- ・小学校において、地域の歴史や伝統文化に関わる教育を行い、また充実を図ります。
- ・文化財やその希少性について、広く情報を提供し、啓発を図ります。
- ・本町のイメージを広げ高めるため、町のシンボルマークや町の花などの普及とPRを図るとともに、イメージキャラクターを新たに作成する可能性なども検討していきます。

文化関連の団体やイベント開催の支援

- ・「初夏の文化祭」、「秋の文化祭」などに代表される文化関連のイベントを、情報の周知や共催などにより支援するとともに、その内容の充実や必要に応じた統合開催による事業効果の増進などを検討します。
- ・町民のみならず、町外からも人を呼べるようなイベントとなるよう工夫します。
- ・文化活動の拠点となる公民館などの施設について適切な維持・管理を行うとともに、町民や団体の文化活動を支援します。

文化の発掘と新文化の創造のための取組み

- ・本町のもつ魅力の再発見のため、地域情報の収集や提供、町歩きや写真コンテストなど、町民自身による文化の発見と創造のための機会拡大の支援などを推進します。
- ・産業施策や都市づくり施策などと連携した総合的な取組みにより、新たな名産品や名所などを創造することを目指します。
- ・公共施設や道路などの整備にあたって、個性ある文化の感じられるデザインや植栽などを工夫します。

主要な事業

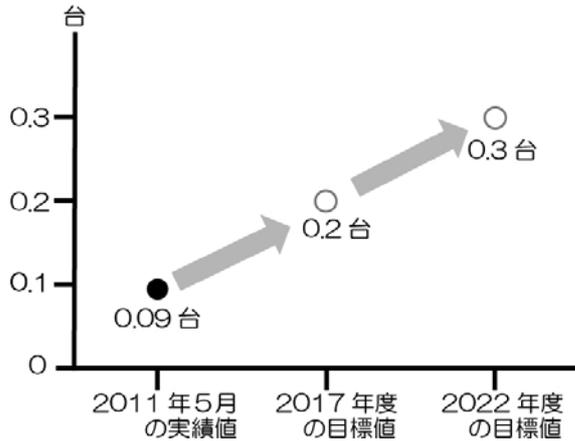
事業名称	事業の概要
文化財保護関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の紹介や保護の重要性の啓発 ・文化財保護審議委員会の継続的な活動など
文化関連イベント事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「初夏の文化祭」「秋の文化祭」などの文化関連事業の開催支援
文化発掘・創造のための事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町の文化的な資源（広義）の発掘のための取組み（町歩き・写真コンテストなど） ・新たな特産品の開発とPR、ブランド化 ・公共事業におけるデザインへの配慮 など

教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野における目標指標

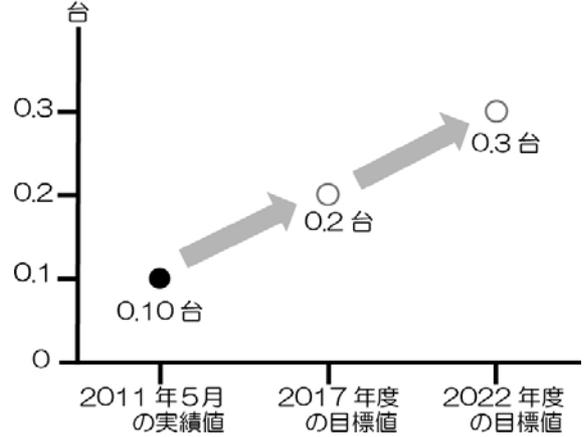
・教育・スポーツ・健康づくり・文化振興に関わる分野において、次に示す目標指標の達成を目指します。

児童一人当たりのPC台数

(小学校)

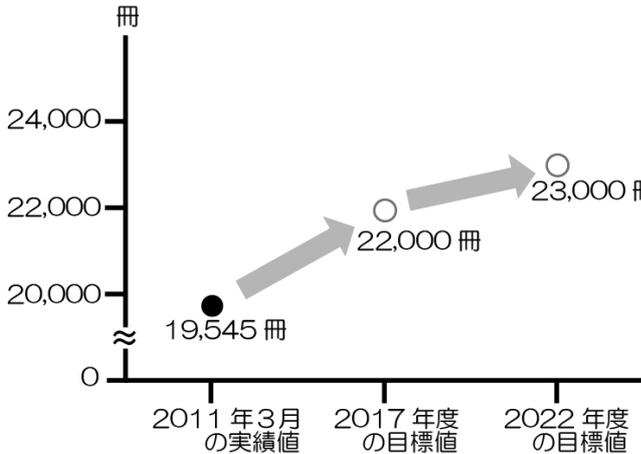


(中学校)

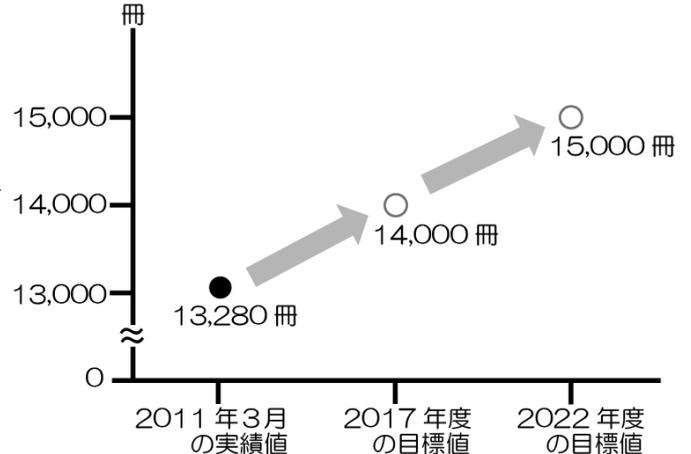


学校保有図書冊数

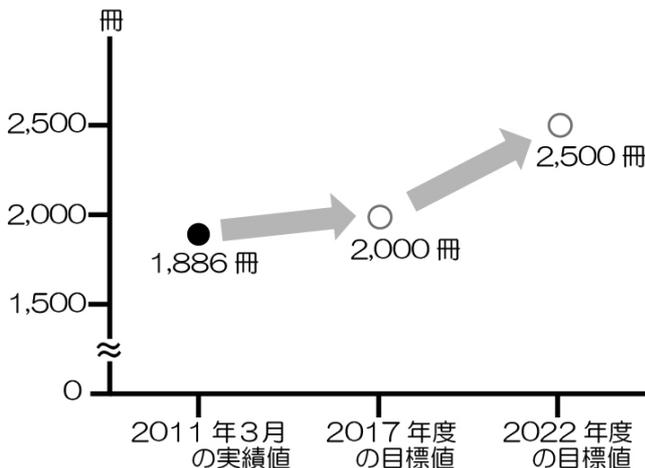
(小学校)



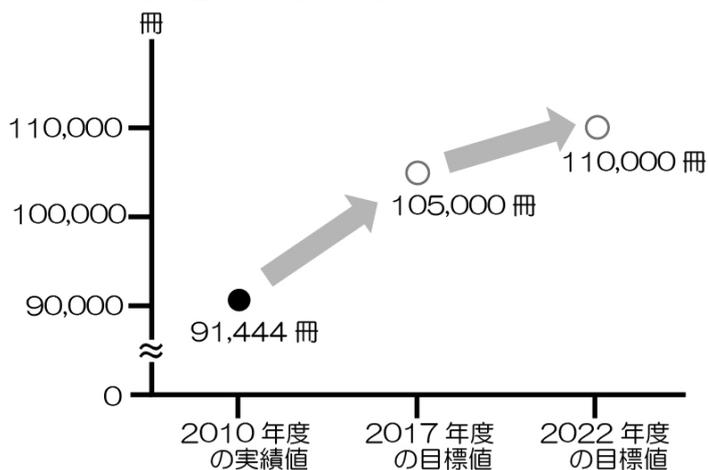
(中学校)



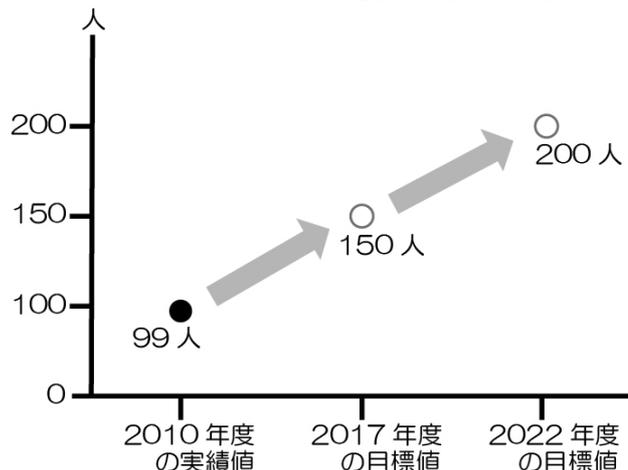
(町立幼稚園)



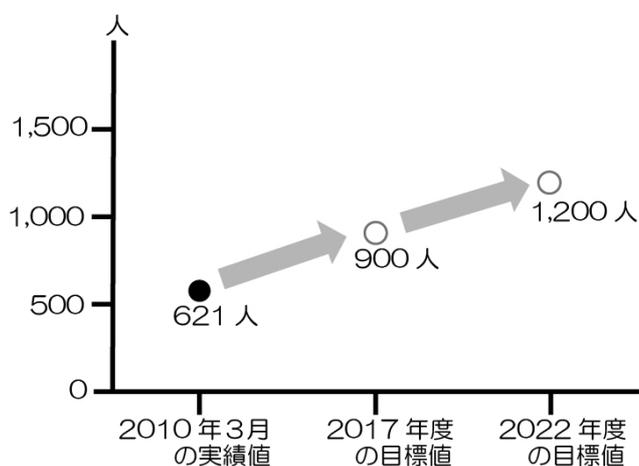
町図書館の貸出冊数



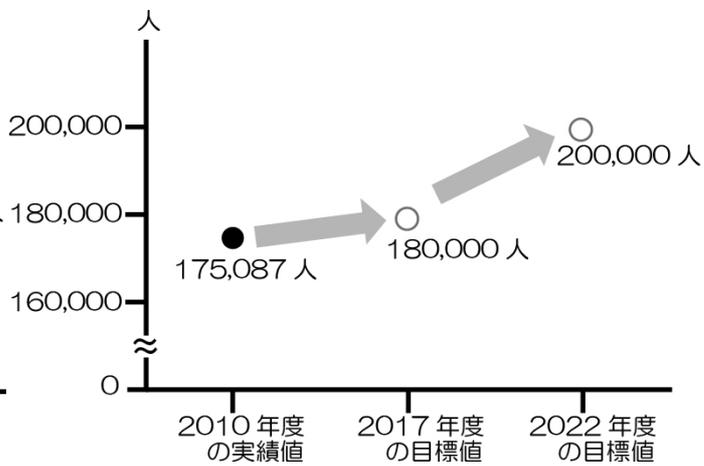
TPTボランティア活動への参加者数



かがみいしスポーツクラブの会員数

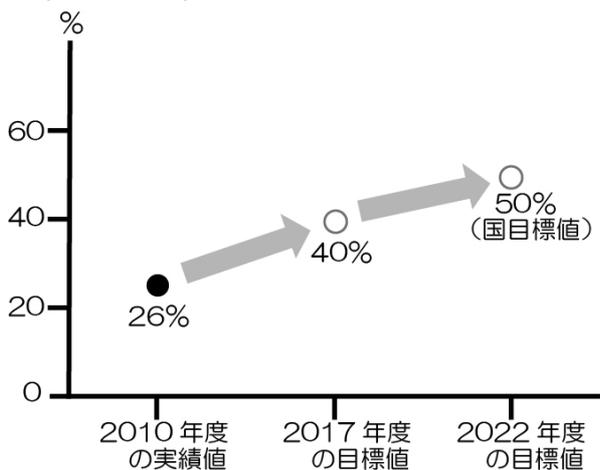


体育施設（7箇所）の利用者数

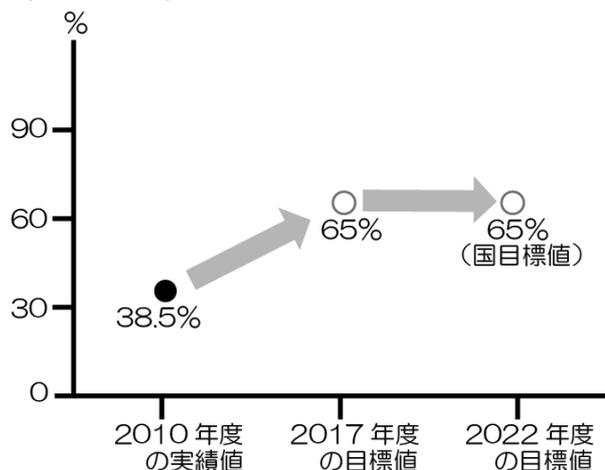


健康診断等の受診率

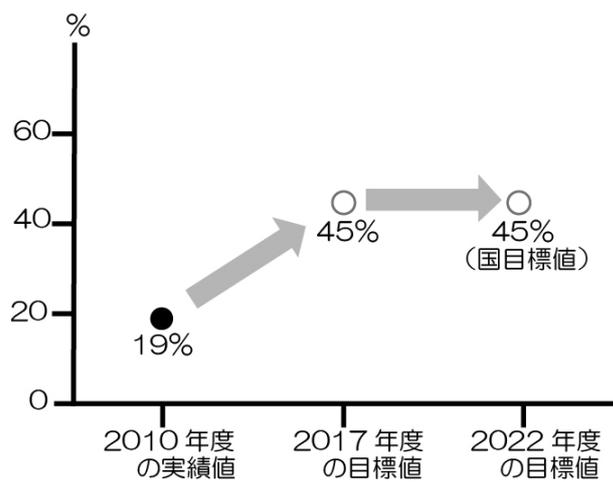
(がん検診)



(特定検診)



(特定保健指導)



序
説

基本
構想

基本
計画

基本
計画

基本
計画

基本
計画

基本
計画

資
料
編